

ZERO KAMISU第二章

- 令和9年には、神栖市からセンターへの犬の収容頭数ゼロを目指します！
- ・イベント時に、パネルやパンフレット等を使って神栖市の野良犬・野良猫の現状を訴え、適正飼養の啓蒙活動と広く正しい動物福祉の情報発信をします。
 - ・フリースクールや活動拠点地域の長期休業中の学童クラブにて、子供達へ紙芝居や遊びを通して、犬猫との関わり方や動物医療の大切さを伝える動物福祉の啓蒙活動をします。
 - ・捕獲の際の餌付けやトラップ設置など、地域住民と協力して行う地域貢献活動を行います。
 - ・保護した犬猫の散歩やトリミングなど、日常적なお世話を通した適正飼養の普及活動を行います。

【活動場所（市町村）】
茨城県神栖市及び譲渡会会場等

- 【寄付金の主な用途】
- ・トラップ備品等の消耗品。
 - ・啓蒙活動に関わる作品材料費。
 - ・パンフレット作成のための印刷費。
 - ・外部協力スタッフの交通費。
 - ・トラップ設置場所等、協力地域住民への謝礼金。

- 【企業との連携】
- ・地域社会に貢献できる様々な活動にボランティアとして参加していただけます。
 - ・譲渡会やイベント時に企業様のチラシや商品等を参加者に配布することが可能です。



ZEROKAMISU
野犬の蛇口閉め活動

私たちが活動の主体としている神栖市ではまだまだ野犬の数が多く、センターへの野犬の収容頭数を長年維持してきました。

原野は状況の改善に向けて殺処分ゼロを目指す条例をつくり、2021年に初めて殺処分ゼロを達成してから現在も殺処分はおこなわれていませんが、センターの収容キャパは限界を超え、犬たちは犬舎の過密状態の中で何年も過ごし、ストレスで犬同士の喧嘩が絶えず起きてしまっています。

殺処分ゼロによって犬たちの命は救われていますが、その数では犬たちの心は救われている状況が続いていて、いつまた殺処分がスタートしてしまうかもしれません。

そこで私たちは、これまで通りセンターから犬を引き出し譲渡に繋げるだけではなく、この環境を大きく変えることとを考え、収容される犬たちを根本から救う「蛇口閉め活動」として2022年に「ZEROKAMISU」プロジェクトを立ち上げ、神栖市内の野犬を自ら捕獲・保護し、丁寧に医療をかけ、人知れぬと寂び大になる高いレベルを目指し、譲渡に繋げる活動をおこなっています。



啓蒙活動
～不幸な命を救うために～

蛇口閉め活動と同時にこななければいけないのが適正飼養の「啓蒙活動」です。

地域に野犬が生まれる原因は、私たち人間に関わりがあります。

外飼いの犬を道で拾ってしまった、飼い主がいなくなった子猫の放し飼いを止めるべきなのに、その子猫が外で生き残っていくために犬たちに襲われてしまう、繁殖してしまっただけの子猫です。

犬や猫の中心に暮らしながら野犬が持つべき知識と愛護心を持っているのが、市内に暮らしているオス犬たちが今度は一般家庭の外飼いの犬猫の餌と交配してしまっている「野犬が行方不明で生まれてしまう」という状況です。

捕獲・保護・譲渡のサイクルを回しても、一般家庭にて交配による繁殖が盛んであれば、いつまでも活動は終われません。野犬をゼロにするためには、適正飼養や不妊手術の啓蒙活動のさらなる推進が必要なのです。

団体名（所在地）	NPO法人わんにゃんレスキューOHANA（神栖市）
設立（活動開始）年	2022年4月1日
主な活動	動物福祉と適正飼養の普及